

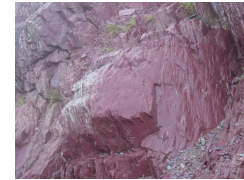
南アルプス鳥倉登山口～塩見岳ルート 登山道沿いの岩石 Accretionary Complex Rocks along the Trail to Mt. Shiomi

中生代ジュラ紀～白亜紀(2億年前～6600万年前)に、アジア大陸に沈み込んだ海洋プレートからはぎ取られた岩石(付加体)が露出しています。



● チャート Chert

塩見小屋付近の灰白色で硬い岩石。石英質の殻を持つプランクトンの死骸が深海底に堆積してできます。豊口山鞍部付近にも見られます。



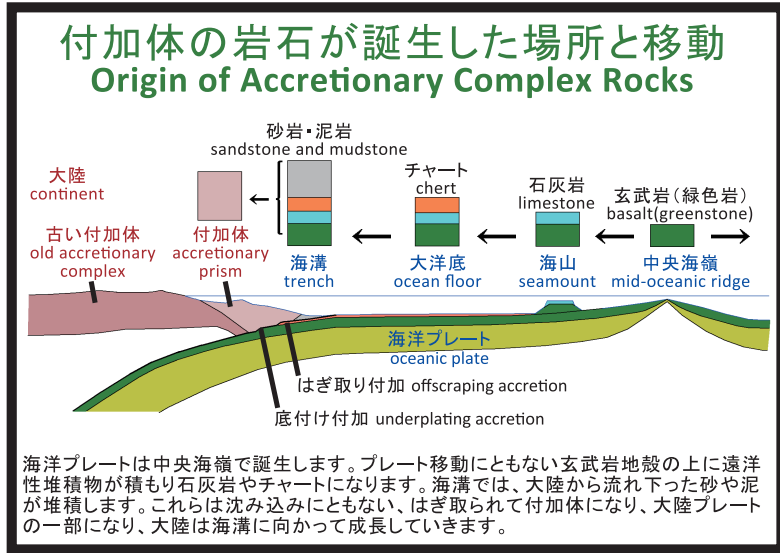
● 赤色チャート Red Chert

天狗岩付近に、鉄分を含む微細な粘土が混じった真っ赤なチャートが見られます。



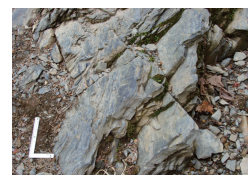
● 緑色岩 Greenstone (altered and metamorphic ocean floor basalt)

塩見小屋の上の標高2800mから山頂までは、ほとんど緑色岩。もとは中央海嶺や海山を造った海底火山の玄武岩で、熱水変質と変成により生じた緑色の鉱物を多量に含んでいます。(タ立神展望台に緑色岩の説明があります)



● 砂岩 Sandstone

三伏山に露出する海溝堆積物の砂岩



● 粘板岩 Slate

水場の上のガレ場に露出する海溝堆積物の泥岩(粘板岩)



● 石灰岩 Limestone

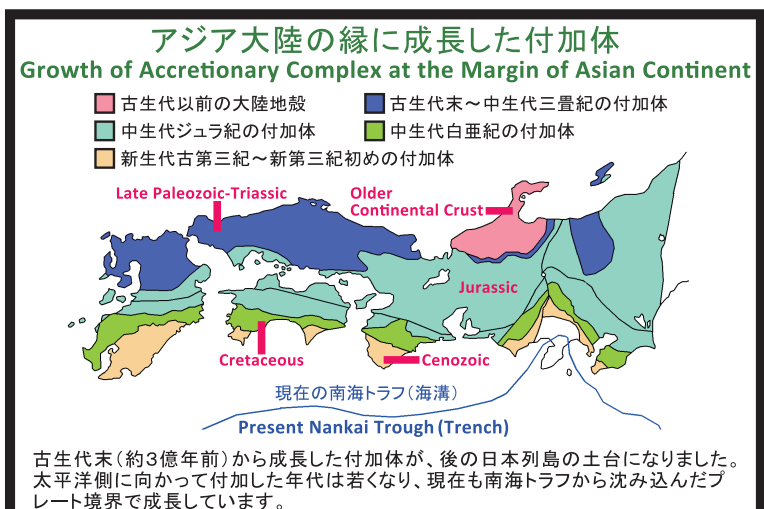
登山口の灰白色の岩石は、南の島のサンゴ礁や石灰質の殻を持つ微細なプランクトンの死骸が遠洋の海底に堆積した石灰岩

● 現在地 Here
● 登山道 起点



● 仏像構造線 Butsuzo Tectonic Line

仏像構造線は、ジュラ紀の付加体と白亜紀の付加体の境界断層で、東京の五日市から沖縄の本部半島までたどれます。断層破砕帯から水が湧き、水場になっています。



もっと知りたい方は大鹿村中央構造線博物館へ
More information at Oshika MTL Museum TEL. 0265-39-2205